SEET法について※先進医療

胚盤胞移植の際に、子宮が胚を受け入れやすくするための方法です。 ※適応条件がございます。詳しい内容は医師にお聞きください。



胚が卵管の中で成長している間に、 胚からのシグナルを子宮が受け止 めることで、子宮内膜は着床環境 を整えることができます。



胚からのシグナルを子宮が受け取るタイミングがないため、子宮内膜が着床の準備ができずに着床不全を引き起こすことがあります。

SEET法

移植の2~3日前に、胚のシグナルの代わりにSEET液を子宮内に注入し、 子宮を刺激することで、着床に適した環境を作り出します。





- ※1回の採卵につき、1回分のみSEET液が採取できます。 SEET法による胚移植の実施は1回となります。
- ※保険は、胚盤胞を培養していたSEET液のみ先進医療の対象となります。 市販のSEET液を使用する場合は、自費の移植となります。成績に差はありません。